

東北中だより

あしたの北中から
ちいきの北中へ
平成27年1月号

明けましておめでとうございます。

2015年の幕開けです。新しい年の目標を次の3点に決めました。全校生が力を合わせ頑張りましょう。

北中3学期の目標

- ・一人ひとりが学力を向上させる。(一人ひとりが授業に集中する)
- ・自助力を育成する。(嫌なことから逃げずに努力する)
- ・「ありがとう運動」の推進。(優しい心を育む)

年頭にあたり、今年一年、次の言葉を胸に抱き、自分から逃げずに成長してくれることを願い年賀状を送付しました。

1年生 「成せばなる成さねばならぬ何事も ならぬは人のなさぬなりけり」
(上杉鷹山の言葉)

2年生 「夢なき者に目標なし 目標なき者に計画なし
計画なき者に実行なし 実行なき者に成果なし」
(吉田松陰の言葉)

3年生 「今やらねばいつできる 俺がやらねば誰がやる」(平櫛田中の言葉)

生徒会役員 生徒会スローガン「輝け！可能性は無限大」

会長	小村 歩(2年)	体育委員長	東野竜也(2年)
副会長	板谷秀隆(1年)	美化委員長	延命友哉(2年)
書記	網 彩希(1年)	保健委員長	池田瑞希(2年)
風紀委員長	村瀬航太(2年)	図書委員長	伊本 陸(2年)
文化委員長	足立里朱(2年)	放送委員長	出本ひなた(2年)

全校生の代表として、12月の生徒総会で上記の人たちが生徒会役員に決定しました。前々回、前回の生徒会役員と全校生が協力して学校生活や行事に力を発揮し

大庄北中学校を良い方向に大きく成長させてくれました。今回の役員も先輩方に負けずにより素晴らしい大庄北中学校にしようと考えてれています。全校生で生徒会役員に協力して規律ある楽しい学校を築き上げて下さい。

～「マイナスを払拭し」原点からのスタート～

校区内の公園等で若干の迷惑行為はあるものの、「3年生を中心に授業に対する取り組み方や生活態度が良くなり、少しずつ学力も向上している。北中は良くなったね」とお褒めの言葉をよくいただきます。けど、そこで少し考えてみると「授業開始のチャイムで着席し、教科書ノートを机の上に置き、先生の発問に答え、板書をノートに写す。学校生活では、正しい服装をして遅刻をしない。」これは学生の当たり前ではないでしょうか。今やっと大庄北中学校は、みんなの頑張りによりこの原点に近づいたのです。本当に自分を成長させ「良い学校」にして行くためには、上記のこと以上の頑張りが必要です。

授業開始のチャイム前に挨拶を終え授業を開始、もしくは、教科委員を中心に予習開始。板書を写すだけでなく、先生の発問や資料集・教科書から要点をまとめノートに追加記入。わからない友だちへの援助。疑問点を授業終了後に先生への質問等。このような自らを高めて行こうとする取り組みができたときに本当の「良い学校」になっているのではないのでしょうか。

自分たちの可能性をのばせる学校を自らの力で作り上げていくために全校生徒が協力し高め合って行きましょう。君たちはその可能性を秘めています。

～大地が裂け、街が壊れた阪神大震災から20年～

1995年(平成7年)1月17日午前5時46分兵庫県南部を襲った阪神・淡路大震災は、わずか20数秒の大地の動きで、6,300人を越える人々の、かけがえない命を奪い、建物を崩壊し、火災を引き起こし、ライフラインを断ち、わたしたちの生活に大変な被害をもたらしました。その後も、各地で自然災害による甚大な被害が発生しています。阪神大震災から20年を機に、自然災害に対する対応について家族で話し合ってください。

1月の予定

7日(水)始業式 8日(木)課題テスト 14日(水)専門委員会
16日(金)防災訓練 23日(金)わくわくオーケストラ(1年生)・百人一首大会
24日(土)土曜参観・新入生説明会・英検 26日(月)代休
30日(金)到達度テスト(2年生)